

「顔の見える関係」から「手をつなぎ合える関係」をめざして

# ことう地域チームケア研究会

# たより

令和1年7月20日発行

## 第39回 ことう地域チームケア研究会を開催しました

- ◆開催日時: 令和1年7月11日(木) 18:30~20:30 (会場:くすのきセンター)
- ◆担当団体: 彦根薬剤師会
- ◆参加者: 88名 (医療関係者33名、福祉関係者29名、行政・包括等26名\*内新規21名)



## 話題提供

## 薬局からの情報発信

「そうだ！薬剤師さんにきいてみよう！」

彦根薬剤師会 理事 池田富美子さん (リリー薬局)



## 薬剤師の在宅療養へのかかわり

~ある事例から~

- ◆認知症の高齢夫婦へのかかわり  
訪問診療の際、医師と共に訪問。多くの残薬を確認。服用できない原因を探り、きちんと服薬できるように、医師やケアマネらと薬の形状や服薬支援方法を検討した。
- ◆がん末期の患者さんへのかかわり  
痛み止めについて服用状況や副作用を確認。本人の希望に沿い、在宅生活が少しでも長く継続できるよう、医師と相談しながら薬の種類や形状の調整を行った。
- ◆おひとり暮らしの方の退院後へのかかわり  
退院調整の時に、11種類の薬を服用することになった患者さんに対し病院と連携し服薬支援を行った。退院後は、薬剤師の訪問指導は最大で月4回なので、日々の服薬支援は訪問看護や介護サービスの方と連携し行った。

## かかりつけ薬剤師としての役割

- 処方内容のチェック (重複投薬、飲み合わせ)
- 医師への疑義照会
- 丁寧な服薬指導
- 在宅訪問での薬学管理
- 副作用、服薬状況のフィードバック
- 処方提案
- 残薬解消

## 健康サポート機能

**まかせてよ! もっと身近に薬剤師**

毎月開催! **健康生活提案イベント**  
彦根県薬剤師会では、他の職種や連携先機関と協働して毎月健康に役立つ情報を提供しています!

- 7月~12月1日: おもう! かかりつけ薬剤師
- 8月: 健診・検診に行こう!
- 9月: 災害時の備え大丈夫ですか?
- フレイル予防
- 12月: フレイル予防に取り組もう!
- R2年1月: 歯科受診のすすめ
- 災害時の備え

歯科受診のすすめ  
歯科受診のすすめ  
歯科受診のすすめ

災害時の備え  
災害時の備え  
災害時の備え

BIWA-TEKUをダウンロードしよう! ポイントをためて賞品GET!

一般社団法人 彦根県薬剤師会

薬局では毎月、健康生活に役立つ様々な情報を発信しています。薬局に行ってイベントに参加しよう!

# グループ交流会

- 薬剤師が支援に関わった事例を出し合ひましょう。
- 薬剤師さんにどんなことを相談したいですか？
- 薬や服薬支援に関する疑問 等

## 「薬剤師が支援に関わって」

### 良かったこと

- ◆薬の整理ができた、残薬の相談ができた。
  - ◆必要な医療用品の相談もできた。
  - ◆剤形を変更してもらえた。
  - ◆医師との調整を行ってもらえた。
  - ◆薬の配達、管理をしてもらえて助かった。
  - ◆居宅療養管理指導で薬剤師が関わっている場合は担当者会議にも参加してもらい、情報交換ができる。家族や本人の思いも伝えてもらえる。
  - ◆多科にかかっている方は重複する薬が多いが、薬剤師に調整してもらって助かっている
  - ◆バツカル錠を覚えてもらえて、患者さんにとってよかった。
  - ◆薬剤師が関わっていると利用者は安心する。
  - ◆薬剤師は薬の配達だけではなく健康状態も訪問看護師さんと共に確認してもらえている。
- 薬剤師が地域でできること まだまだ周知できていない。
- 薬剤師の支援の必要性については担当者会議で確認を。薬剤師も支援チームに。
- 訪問薬局リストを活用していきましょう。

## 「薬剤師へ相談したいこと・要望」

- ◆複数の診療科から痛み止めなどが重複して処方されていないかどうかチェックしてほしい。
- ◆患者が不安に感じている「副作用」の「頻度」についても情報提供してもらいたい。
- ◆薬の説明については、薬への不安が強くなるような伝え方の工夫・配慮をお願いしたい。
- ◆おくすり手帳は災害時にもとても大事。患者さんに薬手帳の意味や管理について説明をしてもらいたい。
- ◆薬局ごとに薬手帳を持っている患者さんには1冊にまとめるような働きかけを。

## 「薬-薬連携」

### 病院薬剤師と地域の薬局の連携

- ◆退院支援の際に、病院の薬剤師と退院後にかかる薬局薬剤師とが関わりをもち、服薬内容、服薬指導の内容について共有したい。
- ◆病院薬剤師も地域の薬剤師とより綿密に連携しながら地域医療に貢献していきたい。



みんなで啓発を！

- ★「かかりつけ薬局」をもとう！
- ★「おくすり手帳」を一つにしよう！
- ★「残薬」があったら薬局で相談を！

ホームページで研究会の情報をご覧ください。

<http://kusunoki-jyoho-mori-kotou-shiga.or.jp/>

バックナンバーをチェック！

彦根医療福祉推進センター＝彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町

## 在宅医療福祉情報の森



ぜひご参考に！

過去に開催した「ことう地域チームケア研究会」の情報をホームページ「在宅医療福祉情報の森」でご覧いただくことができます。

### 【これまでの薬剤師会からの話題提供】

- 第6回(H25年度)「薬にまつわる話～それって副作用?～」
- 第11回(H26年度)「薬にまつわる話 その2」
- 第17回(H27年度)「多職種でタッグを組んだ残薬回収と医療費削減の取り組みのお願い、残薬整理の実例」
- 第23回(H28年度)「服薬管理・残薬整理について」
- 第29回(H29年度)「服薬支援について～多職種での支援事例より～」・「残薬ゼロをめざした取組報告」
- 第34回(H30年度)「健康サポート機能の見える化推進事業『まかせてよ!もっと身近に 薬剤師』」



## こんなこと思いました

～参加者の皆様より～

◆介護職は、直接薬剤師と関わることはないのですが、このような会があればもっと聞きたいことが聞けると思いました(介護職員)。

◆薬手帳、薬情報のデータ化を地域で統一することができるのでしょうか？

◆もう少し薬剤師が在宅へ進出できる機会が増えるように、もう一度会合を開いてはどうでしょうか(医師)。

### 残薬のこと

◆日にちがずいぶん経ってしまった残薬はどうしようもないですか？

◆処方されている薬が古い場合(新しく開発された薬がある場合)はどうしたらいいですか？

◆飲めていない薬、余った薬の総額はいくらくらいになっているのでしょうか？

### 在宅療養管理指導

◆薬剤師の在宅訪問について家族が遠慮される場合がある。勧めていくにはどうしたらいいのでしょうか。また、費用はいくらかかるのでしょうか。



## 参加者の方の所属事業所 (順不同) \*同意をいただいた事業所様のみ掲載しています

【病院・診療所】松木診療所・中西医院・上林医院・横野医院・彦根市立病院・

【歯科医院】つつみ歯科医院・田井中歯科医院・長寿歯科医院

【薬局】丁子屋薬局・リリー薬局・すみれ調剤薬局・疋田調剤薬局・わかば薬局神崎店

【訪問看護ステーション】レインボウはたしょう・レインボウとよさと・レインボウひこね・ふれんず

【居宅介護支援事業所】JA 東びわこ愛あいステーション・近江ふるさと会・彦根市社会福祉協議会・あったかケアプランセンター・よもぎの里・ケアプランセンターどりむ・ケアマネジメントセンターライフ・有限会社めいせい

【介護サービス事業所】鈴木ヘルスケアサービス・べるふらっと・株式会社トーカイ・特別養護老人ホームさざなみ苑・ケアパートナーヨシ彦根・喜房会・特別養護老人ホーム千松の郷・じよいふるあつといなえ・リハプライド彦根

【地域包括支援センター】多賀町・彦根市(いなえ・すばる・ひらた・きらら・ハピネス)

【行政関係・医療福祉専門職団体】彦根市(医療福祉推進課)・湖東健康福祉事務所

【その他】湖東歯科医師会在宅歯科医療連携室・市議会議員・スズケン・アルフレッサ・中北薬品・ケーエスケー・薬学部学生

多くのご参加 ありがとうございます。

## 次回のお知らせ

お知らせメールの登録をお願いします。



研究会の開催状況や、次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は、「①お名前 ②ご所属 ③一言」をいれて下記にメール送信してください。

☆ことう地域チームケア研究会事務局  
(E-mail) info@gen-ai-ken-kaigo.jp

日時：令和元年9月14日(土)14:00～16:00

会場：くすのきセンター1階

テーマ：「新たな時代の連携を語ろう！  
PART2 地域包括ケアシステムを支える地域のちから」

担当団体：彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会  
市町地域包括支援センター

\* 研究会は申込み不要です。当日会場へお越しください

\* 問い合わせ先：ことう地域チームケア研究会事務局

彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455)

彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)